

はじめに

英語をふかく理解し、適確に運用しうるためには、英語に採り入れられたラテン語・ギリシャ語の要素について知ることが望ましい。それは外国人が日本語を学ぶとき、最初に習う基本的な語彙は別として、多少でも内容のあるものを読み書く段階になると、漢字についての心得がきわめて重要になるのに似たところがある。その意味で、ここに両古典語の語根に基づく表を掲げ英語学習者の便を図ることとした。Gk.とあるのはギリシャ語源、その他はラテン語源である。

ラテン語の語根については、ラテン語から直接英語に採り入れられた語と、ラテン語がフランス語になった上で英語へ入ってきた語とを、わかりやすく、納得のしやすい形式で採録した。すなわち、ラテン語の基礎的な形をまず示し、次に必要があれば「弱」の印のもとに、語中で母音が弱化した姿を掲げ、また「過分」の印のもとにラテン語の過去分詞形をも適宜に加えた。たとえば、「見る」の意のラテン語の語根√spec-は、その前に接頭辞がつくと弱形-spic-となり、過去分詞はspect-であることが示されれば、specimen「見本」、specious「見かけの」、conspicuous「目立つ」、despicable「見おろすべき、卑しい」、spectacle「見もの、光景」、introspect「内観、内省」などは、単に意味に関連があるというだけでなく、その音声的形式の異同・関連も理解される。

なお、ラテン語に発し、フランス語を経由して英語にはいった語には㊦の印をつけた。意味上に関連からも、音声上の類縁からも、理解と記憶との便となることであろう。特に注記してないが、イタリア語・スペイン語を通じてラテン語が英語にはいったものも掲げてある。

本書はラテン語・ギリシャ語を語源とする英単語について語根と接頭辞を理解することで、語彙力を高めるための参考書として編集したもので、『講談社英和辞典』の内容を使用している。日本語訳は基本的な意味を表し、理解を早めるために掲載しているが、発音や日本語訳などについては、詳しく知りたい方は辞書などでお調べいただきたい。利用者の英語学習に少しでも役立てば幸いです。

最後に、本書の内容はその多くを『講談社英和辞典』に基づいて編集しています。その点に関し同書の執筆者や関係者の方々に使用の許可をお願いしたところ快く同意を得ることができました。ここに寛大なご配慮を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

2016年12月

編者

目 次

解 說	<i>i</i>
語根集	1
接頭辭集	80
接尾辭集	91
語形成要素・連結形集	107
語根一覽表	119
索 引	127